

令和7年4月

令和7年度 学校経営計画

大田区立矢口西小学校

校長 木村 啓一

本校は開校105周年の歴史と伝統があり、知・徳・体のバランスのとれた力の育成を目指して教育活動を行ってまいります。しかしながら、改築工事の影響により授業や休み時間において、制限を設けなければならない活動があります。そのような中でも教育内容の質やこどもたちの楽しみを減らさないようにするためには、教職員が一丸となって知恵を出し、工夫していくという不断の努力が欠かせません。また保護者や地域の皆様にもボランティア等のお力添えをいただくことで、できないから諦めるのではなく、できることを続け、広げるためによりよい活動ができるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。学校は「こどもたちの笑顔とあたたかさあふれる活動」を目指しながら家庭、地域とともに歩み、教育活動を推進していきます。

【おおた教育ビジョン 第4期大田区教育振興基本計画】

笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます

【本校の教育目標】

考える子 感じる子 鍛える子

1 教育目標に基づく基本方針について

考える（知）感じる（徳）鍛える（体）のバランスのとれた子の育成を目指します

- ◆考える…確かな学力と協働的な学び
- ◆感じる…豊かな心の育成
- ◆鍛える…健康・安全・運動習慣の育成

2 目指す学校像

① 変化に対応し、たくましく生きるこどもをはぐくむ学校

たくましくとは、変化の激しい社会においても柔軟に生きていける心身ともに強くあることとらえ、学習や生活において、諦めずに粘り強く取り組む力、臆することなく適応できる力の育成を目指します。

○基礎学力の定着

- ・算数での習熟度別学習指導、放課後補習教室（算数）、朝読書
- ・学校図書館の充実→読書学習司書を中心に環境を整備し、読書活動の推進を行います。
- ・各種支援員の活用

○未来を創り出す学習活動の展開

- ・一人一人のマイスタート、マイゴールを大切にした学習活動

わかることやできることを実感し、学ぶ楽しさを味わいながら、学び方を身に付けていきます。（知識を使って、自ら考え、判断し、実践する力の育成）

- ・大田区独自教科「おおたの未来づくり」（５・６年生）の実施

創造的な資質・能力や主体的に学習に取り組む態度の育成を目指します。「地域創生」「ものづくり」を通して、地域や社会との関わりの中で、物事を多面的に捉える力や粘り強く課題解決に向けて取り組む力を育てます。

- ・体験的な学習や専門家による授業
- ・プログラミング教育の推進（論理的思考力の育成）
- ・多様な考えを認め、協働的に学び、振り返りを大切にする学習
- ・教科横断的な学習
- ・外国語指導員（ALT）と連携しながら、外国語でのコミュニケーションを図る学習
- ・体力の向上、健康の増進に向けた知識や技能の定着を目指した学習
（ガス橋グラウンドでの運動、「一校一取組」運動の実施、学校保健委員会、体育・健康教育授業地区公開講座、「早寝、早起き、朝ごはん」の取組）

② 教職員が使命感をもち、共に学び合い、高め合う学校

○教師は授業力の向上を目指して授業改善に努め、魅力ある授業づくりに向けて校内研究や校外での研究の充実を図ります。

- ・こどもたち一人一人に寄り添う姿勢での深い児童理解と情報の共有、組織的対応
- ・異学年交流（やにしタイム）の充実
- ・「子供の心サポート月間」（６月１１月）でのＳＣとの連携
- ・特別支援教育の推進（矢口特別支援学校のセンター的機能の活用・矢口中との連携）
- ・服務事故防止・メンタルヘルスの組織的対応
- ・OJT等による専門性や授業力の向上
- ・教師の働き方改革による教育活動の質の向上

③ 学校・家庭・地域が連携し、こどもをはぐくむ学校

○学習環境の整備を行い、区や地域、家庭と連携を図り安全・安心な活動を推進します。

- ・開校１０５周年記念行事の充実
- ・地域行事へのお知らせを発信し、地域を愛し大切にする子の育成
（コミュニティ・スクールの導入）
- ・教職員一人一人の危機管理意識を高め、こどもの安全を優先した教育活動の展開
（安全点検・避難訓練・防犯教室・交通安全・風水害等）
- ・こどもが安心と感じる居場所づくり
- ・基本的生活習慣の定着 「挨拶」（語先後礼）、登校時間、安全な登下校

令和7年度 大田区立矢口西小学校 学校経営計画

おおた教育ビジョン「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」

基本方針1 持続可能な社会を創り出すグローバル人材を育成します

基本方針2 誰一人取り残さず、こどもの可能性を最大限に引き出します

基本方針3 すべての区民が未来を担うこどもを育て、ともに学び続けます

学校の教育目標

- ・考える子
- ・感じる子
- ・鍛える子

学習指導要領が示す3つの資質

- ・生きて働く知識・技能
- ・未知の状況でも対応できる思考力・判断力・表現力
- ・学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性

めざす学校像「こどもが主役のコミュニティスクールやにし」

○変化に対応し、たくましく生きるこどもをはぐくむ学校

○教職員が使命感をもち、共に学び合い、高め合う学校

○学校・家庭・地域が連携し、こどもをはぐくむ学校

基礎学力の定着

- ・習熟度別学習指導（算数）
- ・放課後補習教室（算数）
- ・読書活動の推進、学校図書館、矢口図書館
- ・各種支援員の活用による個別最適な学び
- ・「読むこと・書くこと・聞くこと・話すこと」の発達段階に応じた定着

教職員の指導力や専門性の向上

- ・OJTや研修による専門性や授業力の向上
- ・深い児童理解と情報の共有、組織的対応
- ・「子供の心サポート月間」（6月11月）、SCとの連携
- ・特別支援教室巡回教員との連携
- ・働き方改革の推進とサービスの厳正

未来を創り出す学習

- ・電子黒板、タブレットの効果的な活用
- ・一人一人のマイスタート、マイゴールを大切に学習活動
- ・多様な考えを認め、協働的に学び、振り返りを大切にする学習
- ・「おおたの未来づくり」（5・6年生）の実施
- ・体験的な学習や専門家による授業

教育環境の向上・整備

- ・こどもが安心とを感じる居場所づくり
- ・屋上、体育館、プールの有効活用
- ・近隣中学校、区施設の利用
- ・安全パトロールの実施
- ・改築工事における区・業者との連携、保護者や地域への情報発信

互いに認め合い、人を思いやる心の育成

- ・やにしタイム（異学年交流）の充実
- ・特別支援教育の充実
- ・いじめの未然防止・早期発見、早期解決
- ・「学校のきまり」を全教職員が共通理解し、指導に当たる。
- ・道徳、人権教育の充実を図る。

学校・地域の特色を生かした教育

- ・開校105周年の取組
- ・保幼小連携、小中一貫教育の推進
- ・学校運営協議会の実施
- ・学校支援地域本部
- ・学校防災拠点